

地域の安全を守る新たな力

2026年
4/9

水槽付消防ポンプ自動車を更新

町は北海道エアポート株式会社の助成金を活用して、水槽付消防ポンプ自動車を更新しました。

旧車両は使用から38年が経過し、維持管理が課題となっていました。納車式は釧路市西消防署白糠支所で行われ、木村政勝副町長が同社釧路事業所の笹谷幸司所長に感謝状を贈呈しました。その後、テープカットが行われ、導入を祝いました。



テープカットを行う関係者

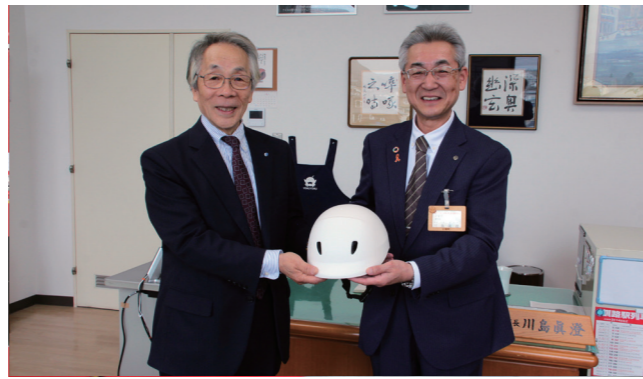
新1年生の安全を願って

2026年
4/6

株式会社八百坂建設がヘルメット寄贈

株式会社八百坂建設（八百坂健次郎代表取締役）は、町内の新入学児童33人分の自転車用ヘルメットを寄贈しました。

この日は八百坂代表取締役が役場を訪れ、川島眞澄教育長に「少しでもお役に立てば」と話し、ヘルメットを手渡しました。川島教育長は「本当に助かります」と感謝の言葉を述べました。



川島教育長（右）にヘルメットを手渡す八百坂代表取締役

掘削技術の習得へ

2026年
4/13

ジオパワー学園5期生入学式

学校法人ジオパワー学園掘削技術専門学校（井上政史校長）の第5期生入学式が同校で行われ、道内から5人、道外から4人の計9人が、技術者への道を歩み出しました。

同校初の女性入学者となった井口芽維さんは、新入生代表あいさつで「しっかりと学び、実践的な技術と自ら考えて行動できる力を養っていきたい」と述べました。



新入生を代表してあいさつする井口さん

積極的な参加を呼びかける

2026年
4/11

釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会定期総会

釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会の令和8年度定期総会が振興センターで開かれ、23人が出席しました。

石田正義会長はあいさつで「昨年実施した恋問館等での研修を今年度も実施します。一人でも多くの会員の事業参加をお願いします」と呼びかけました。総会では新年度の事業計画等が承認され、その後の親睦会で会員は親睦を深めました。



定期総会に出席した会員と来賓

交通安全を呼びかけ

2026年
4/2

白糠ライオンズクラブが看板設置

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）は町内15カ所に交通安全を呼びかける看板を設置しました。

新入学児童・園児を交通事故から守ろうと、毎年この時期に行っている活動です。今年では会員4人が作業に当たり、白糠地域に8枚、西庶路地域に7枚を設置しました。高橋会長は「運転する際はスピードに注意して、交通安全に努めてほしい」と話していました。



看板を設置した会員

自然の甘味に笑顔あふれる

2026年
4/4
~
5

驚きの森でメープル祭り

イタヤカエデの樹液から作るメープルシロップを使ったスイーツなどが楽しめる「メープル祭り」が4、5日の両日、上茶路の「驚きの森」で行われました。

初日の4日は午前中にピザが完売するなど、多くの人でにぎわいました。釧路市内から親子で訪れた今井章代さんと十暁君は「毎年楽しみにしているイベント。ピザの焼き具合がよく、とてもおいしかった」と笑顔でした。



ピザ食べる来場者

多様な種目を楽しむ

2026年
3/29

町温水プールで初の水中運動会

町温水プールで初めて「水中運動会」が開催されました。3歳から小学5年生までの約20人が参加し、水中かけこや宝さがし、玉入れなど、さまざまな種目を楽しみました。

参加した子どもの保護者からは「また来年も開催してほしい」という声がかかるなど好評でした。



水中運動会に参加した子どもたち

商工会青年部と女性部

2026年
4/3

新入学児童にプレゼント

商工会青年部（佐藤公也部長）と同女性部（高橋志保子部長）は、新入学児童の入学を祝う品として、鉛筆とノート、防犯ブザーを寄贈しました。

この日は佐藤部長と砂金郁子女性部副部長が白糠学園を訪問し、「新1年生がこれからの学校生活を楽しく過ごしてもらえれば」と嶋崎浩一校長にお祝いの品を手渡しました。



お祝いの品を手へ左から佐藤部長、嶋崎校長、砂金副部長